

星城懇話会

第 40 号

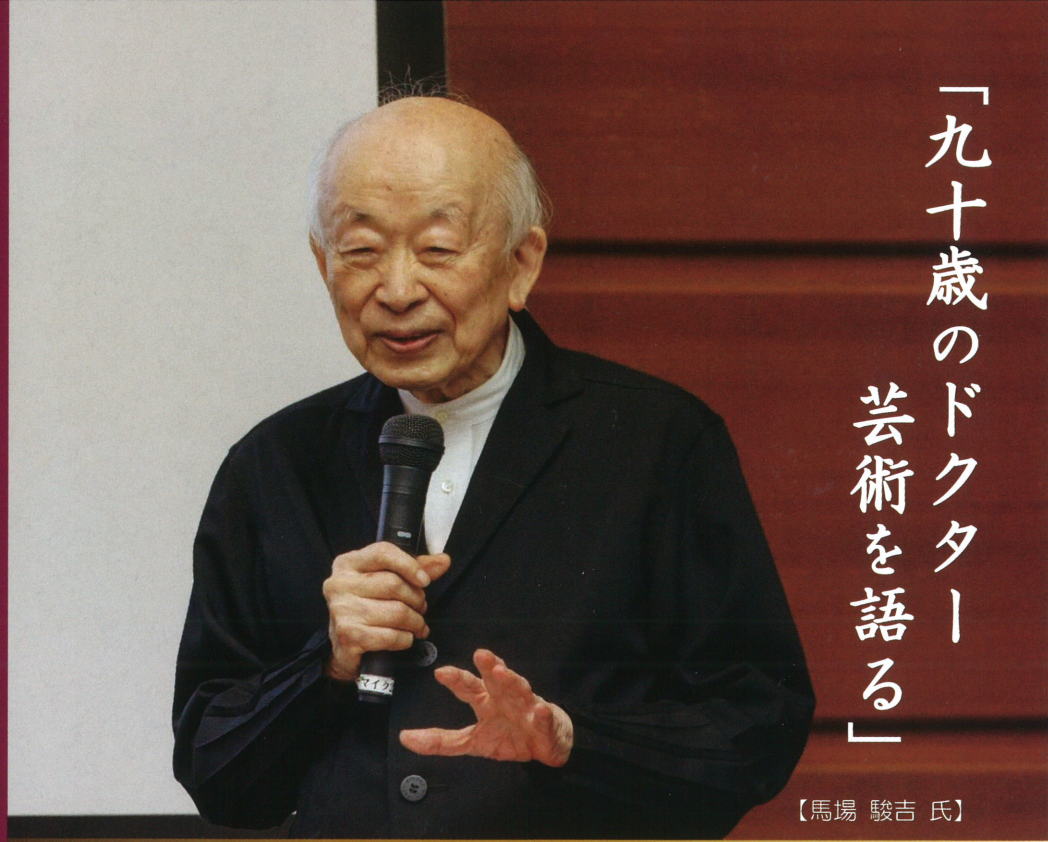
2024. 2 発行

発行：星城懇話会事務局
〒476-8588

東海市富貴ノ台 2-172

TEL 052-689-6002

FAX 052-689-6003



「九十歳のドクター
芸術を語る」

【馬場 駿吉 氏】

地域貢献事業 教育講演会 開催



【現代美術家 荒川修作氏とのエピソードを楽しそうに語る馬場先生】

9月30日(土)、名古屋国際センターホールにおいて、耳鼻咽喉科の医学者であり、俳人、現代芸術評論家でもある馬場駿吉氏をお招きし、「九十歳のドクター 芸術を語る」と題して教育講演会を開催いたしました。今回はコロナ禍を経て4年ぶり、待望の開催となりました。

当日は天候にも恵まれ、受付開始より随分と早い時間から、続々と聴講者の方が詰めかけました。講演開始時刻には、期待を膨らませた皆さままで会場がいっぱいになりました。

講演に先立ち、工藤潔会長より「今回の講演は星城懇話会の趣旨に、そして秋にぴったりの芸術がテーマということで大変心待ちにしておりました」と、続いて石田正城名誉会長(名古屋石田学園理事長)から「教育機関として特に、愛知県の皆さま方に何か貢献することが出来ないかと考え、星城懇話会では色々な教育に関する講演をさせていただいております」との挨拶

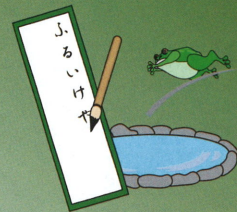
がありました。

医学と芸術を横断したご自身の人生について、様々なご経験を振り返りながらのお話に、会場では度々「ほー」と感心する声、「おー」と驚く声があがり、その場にいた誰もが惹きつけられました。

参加者の方々からは、「馬場先生ならではの素晴らしいお話だった」「人生百年時代、勇気をいただきました」など多くの感想をいただきました。

ご多忙中、たくさんの方に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。





「九十歳のドクター 芸術を語る」

—— 人生この道一筋に精進することは大事だが、現代は極めて多様な思考と現象にあふれている。一領域にとどまらず、色々な領域を複眼的、多角的に見た方が本当の世界の姿がよく分かるのではないか。——

馬場先生の生涯で一番長く関わってきたという俳句。小学校4年生の時に会った「一茶さん」という1冊の本が、俳句人生の最初の源だったそうです。

中学時代から俳句に傾倒、高校時代には舞台芸術にも興味を持ち始めます。進路を決断する際には苦悩の末、医学の道へ進みました。まさに医学と芸術を横断する人生のはじまりです。

しかし、耳鼻咽喉科を専門とした馬場先生にとって、芸術と医学は決して分断されるものではなく、耳、鼻、喉といった機能を扱う耳鼻咽喉科は、音楽やお芝居、ダンスなど文化・芸術と非常に関わりのある領域でした。



【講演会の様子】



【工藤会長 馬場駿吉氏 石田理事長】

俳句をつくり続ける中で色々なご縁に導かれ、銅版画家である駒井哲郎氏をはじめとする多くの芸術家との交流が生まれていきます。なかでも彫刻家である三木富雄氏による人間の耳をモチーフにした彫刻作品との出会いは、馬場先生が後に医学の分野で多くの実績を上げた、欠損した耳の再建手術の研究に大きな影響を与えました。

これまでのご自身の人生90年を振り返りながら、多岐にわたるご経験やご交友関係など、大変興味深いエピソードの数々を交えたお話で、馬場先生の幅広い見識とお人柄をうかがい知ることができる講演会となりました。

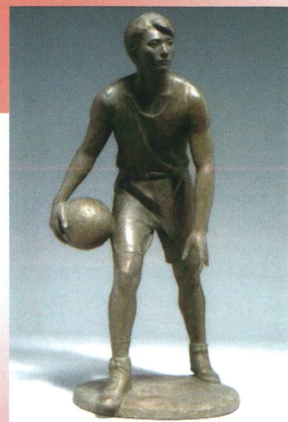
第10回 日展 名古屋展

1月24日(水)～2月12日(月・振)、愛知県美術館ギャラリーにて「第10回日展名古屋展」が開催されました。

今回も星城懇話会にゆかりのある先生方の作品が出品されました。

- ◆楠 崇子氏 『黄色いテーブル』 (洋画)
- ◆工藤 潔氏 『光る青春』 (彫刻)
- ◆樽本 樹邨氏 『論書翹自後漢』 (書)
- ◆藤森 兼明氏 『ポンペイ秘儀荘へのオマージュ』 (洋画)
- ◆待田 和宏氏 『撓屈「仁慈Ⅱ」』 (工芸美術)
(五十音順)

【光る青春】



—工藤潔先生作品解説—
コロナ禍で一変した学生生活。そんな中、黙々とバスケットに打ち込んだ青春の日々。間もなく卒業そして社会人に、夢と希望で胸膨らむ人生の新たなスタートライン。自分の可能性を信じ勇気を持って幾多の困難を乗り越え目標に向かって全身でシュート！
「輝いて欲しいと願う」

会員交流会 開催



12月6日(水)、「会員交流会」を THE CONDER HOUSE にて開催いたしました。

はじめに、工藤会長、続いて石田名誉会長より挨拶があり、その後、今年のイベントであるシンガー大友玲子さんとピアニスト森永理美さんによる「音楽ライブ」を楽しみました。懐かしい歌謡曲やこの時期にぴったりのクリスマスソングなど盛りだくさんのライブで、素敵な歌声とピアノの音色に引き込まれました。朝ドラで話題の「東京ブギウギ」が始まると、曲に合わせて皆さまで口ずさんだり、手拍子したりと会場が一体となり大いに盛り上がりました。

ライブ終了後は、皆さまお待ちかねの交流会がスタートしました。石黒理事のご発声で乾杯が行われると、会場のあちらこちらで名刺交換や歓談など盛んに異業種交流が図られ、おいしいお料理とともに、楽しい時間があっという間に流れました。

今年も恒例の企業PRタイムでは、飛び入り参加の企業さまも次々と参加され、熱い自社PRが繰り広げられました。

最後に浦野理事より閉会のお言葉をいただき、参加者一同、三本締めで締めくくりました。お忙しい中、約120名の会員の皆さまにお集まりいただき、大変有意義で楽しい会となりました。誠にありがとうございました。



企業PRタイム



東3 冷凍機(株)



愛知(株)



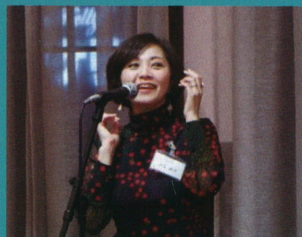
左：(株)日鉄コミュニティ
右：(株)安藤組



(有)プレジャー企画



(株)JTB



シンガー 大友玲子



(株)エヌアイジー



星城大学キャリア支援課

会員紹介

会員企業様とのさらなる交流を深めていただきたく、ご紹介のページを設けています。
今回は、株式会社 アペックス様をご紹介させていただきます。

JVS APEX

株式会社アペックス

最高の一杯、最高のひととき

〒474-0053 愛知県大府市柵山町 2 丁目 418 番地
TEL : 0562-47-1218 FAX : 0562-47-9501
URL : <https://www.apex-co.co.jp>

株式会社アペックスは愛知県大府市で 1963 年に創業し、昨年創業 60 周年を迎えました。

カップ式自動販売機オペレーターとして、主にオフィスや高速道路のサービスエリア、公共機関などに設置されている、カップ式自動販売機を全国で約 4 万台以上管理・運営しております。

カップ式自動販売機オペレーターのパイオニアとして、機械・飲料商品の開発、品質管理、環境活動にも注力してまいりました。特に、コーヒー商品へのこだわりは強く、豆の種類ごとにレシ

ピを開発し、注文ボタンが押されてから一杯ずつ豆を挽いてご提供しています。そのノウハウを生かし、コーヒーマシンやヘルスケア商品など、多様な事業を展開しております。



【大府本社】

名古屋石田学園様には、自販機ベンダー企業として最も長くお取引をさせていただいております。今後とも皆様に「最高の一杯、最高のひととき」をお届けできるよう精進してまいります。

アペックスのカップ式自動販売機を見かけた際は、是非ご利用いただけますと幸いです。



新規会員募集



「名古屋石田学園を一緒に応援してください！」

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会活性化に貢献することを目的とし、平成 18 年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

今後も地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆さま、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指し、また様々な催しを企画して会員の皆さまに喜んでいただけるよう運営してまいります。

ぜひ、ご興味があるお知り合い、ご友人の方々にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

令和 5 年度新規法人会員様 (ご入会順)

★ 医療法人 福友会 様

★ 株式会社 サンウッドグループ 様

★ 株式会社 いづつや本店 様

〇〇〇 連絡先 〇〇〇 星城懇話会事務局 (学校法人名古屋石田学園法人本部内)
東海市富貴ノ台 2-172 TEL : 052-689-6002 FAX : 052-689-6003
MAIL : konwakai@seijoh-u.ac.jp



【web サイト】

202402 懇 1950